

<金標準、円安の恩恵を受け目先ピークか・・・>



(出所：オアシス)

ヨルダンで米国軍兵士 3 人が死亡する親イラン勢力による攻撃を受け、バイデン大統領は報復を言及し、中東における地政学的なリスクの高まりを見せて、また中国では香港高等法院（香港高等裁判所）が大手不動産開発会社・恒大集団に対して清算命令を発し、中国における信用リスクの高まりも重なり、NY 市場で金価格は堅調な動きを見せている。

しかし FOMC でパウエル FRB 議長は市場の思惑が強い 3 月の早期の利下げ観測を否定し、長期金利が上昇するなど金利に弱い金を押し下げている。ただ米国の地銀ニューヨーク・コミュニティ・バンコプの格付けをムーディーズが引き下げを示唆すると株価は続落し、1 年前に起こった地銀の信用リスクの高まりを受け高値を試すも週末の雇用統計で非農業部門就業者数が事前予想を大きく上回り、3 月の利下げの可能性が消えると NY 金は下落している。しかし金標準は円安の恩恵を受けて 9700 円台を試しているが、円安だけでは限界もあり、今週は調整安に注意が必要と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** と **シグナル** が切り上げながら重なりを見せ、RCI では **短期** が上昇し **長期** は +88% を維持しており、買われ過ぎの域に近く **10 日移動平均線** が位置する **9647 円** を下回ると調整安に注意と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,500,000 円(2024 年 2 月 5 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 2 月 5 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>